

平成21年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	竜口「お蔵交流館」事業
事業主体 (連絡先)	高森町山吹 竜口地区 0265-35-2136 (柏原利安)
事業区分	地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,805,461円 (うち支援金: 2,112,000円)

事業内容

竜口のお蔵は、年貢米を管理したり救荒米を保管するため、江戸時代の天保9年(1838年)に建てられた地区共有の建物です。平成20年に高森町文化財に登録されましたが、屋根等の傷みが激しいため修理改修を施し後世に保存するとともに、以前から地区で取り組んでいるコキビ、蕎麦の加工場として、また建物内を展示スペースとしてお蔵の歴史を語る史料の展示、地区民の作品ギャラリーとして活用する、地域住民交流の拠点「竜口お蔵交流館」として整備しました。



修理完成を龍神の舞で祝う

自己評価 (事業実施率) 【100】

事業効果

竜口のお蔵を文化財として将来へ保存するための必要な修理が完了した。

修理工事に際し床張り作業や、外構の排水工事に多くの住民が参加し、それぞれ得意分野で力を発揮した。

修理完成のお披露目に地区の伝統芸能「龍神の舞い」を披露し完成を祝った。事業の経過、交流拠点としての趣旨説明をおこない、今後の利用を促した。

地区の大切な歴史史料(古文書)の整理、目録を作成し今後の保存活用のための基礎作業が完了した。展示資料も集まりつつある。

【目標・ねらい】

- 文化財建物の保存修理
- 修理工事への住民参加
- 交流拠点の整備
- 史料整理と地区資料展示

自己評価 (目標達成率) 【A】

今後の取り組み

建物は屋根と床の修理により保存と活用の目的は達成したが、外壁漆喰の傷みや汚れも目立ちいずれ直さなくてはならない。また、施設の位置が通りから奥まった人目の付きにくい場所にあるため、案内サインの設置、進入路の整備も必要となる。これらを地区の協働作業として取り組んでいきたい。展示スペースの充実をはかるため、お蔵に係る史料の掘り出しをさらに進め、地区民からの出展を定期的に募り展示替えをするなど地区民の来館機会を増やしたい。館長(すでに選任済)を中心に計画運営し、親睦、文化交流の場として育てていきたい。